



施策紹介

- ～ 東北管内の大学等との連携強化に向けた取組 ～
- ～ 持続可能な電波有効利用のための
基盤技術研究開発事業(FORWARD)のご紹介 ～

総務省 東北総合通信局

無線通信部 電波利用企画課

入谷 忠久

- 東北管内の大学等との連携強化に向けた取組
- 持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業（FORWARD）の概要
- FORWARDの応募・採択状況について
 - 東北管内の令和6年度、7年度の受託研究開発課題・機関
- 情報通信審議会の答申に関して（次期FORWARD関連）
- 電波利用推進セミナーのご案内

東北管内の大学等との連携強化に向けた取組

2

- 東北地域の課題解決や研究開発の促進に向けて、管内の大学や電気関係学会東北支部等と連携して取り組んでいる。
- **管内の大学等との意見交換会を実施**し、ICT分野の研究開発・成果展開、大学の知見を活用した地域社会DX等に協力して取り組む。

意見交換会の概要

議題

- 東北地域の課題解決等に向けた当局と大学等との連携のあり方
- 大学等と連携したICT利活用による地域課題の解決
- 総務省関係の支援制度を活用した研究開発の促進
→ 既存の支援制度の活用に加え、必要に応じて、支援制度の充実等に資する検討

体制

東北6県の大学等研究機関

東北総合通信局

情報通信研究機構(NICT)

■引き続き、関係機関との連携も進める

- ・電気関係学会東北支部
- ・電子情報通信学会東北支部
- ・東北情報通信懇談会
- ・T-MAJSNT※ 等

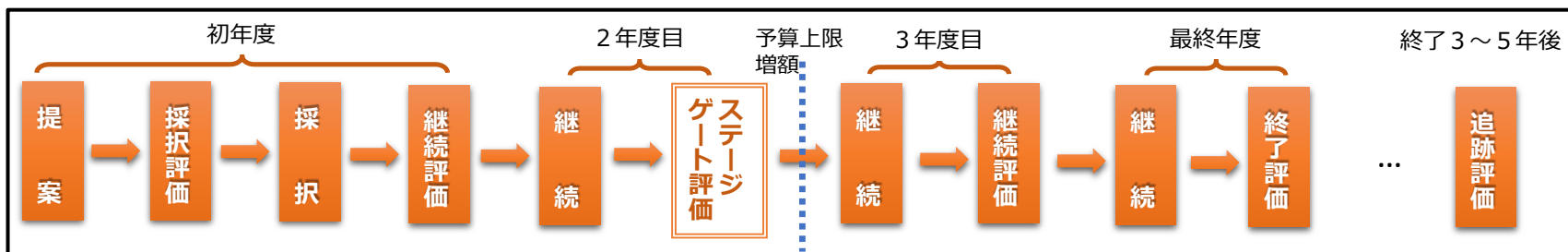
※ T-MAJSNT:東北地域における国等の「研究開発制度担当」の連携活動(事務局:東北経済産業局)

- SCOPE（先進的電波有効利用型）の後継施策として、令和6年度より実施。
- 電波の有効利用のための要素技術の研究開発や、電波有効利用技術を用いたワイヤレスシステムの活用等による地域課題の解決・地域ニーズへの対応等、地域に寄り添った研究開発を推進するため、総合通信局等において課題を公募。

1. 制度の概要

公募対象課題	● 電波有効利用基盤技術部門：電波の有効利用を促進する基盤技術の研究開発を行う課題 ● デジタルインフラ構築部門：地域課題の解決や地域ニーズに対応するため、ワイヤレスシステムの活用によるデジタルインフラを整備・運用する際に必要となる技術の研究開発を行う課題 ● デジタルインフラ構築部門：東北地方の抱える課題の解決や地域ニーズに対応するため、ワイヤレスシステムの活用によるデジタルインフラを整備・運用する際に必要となる技術の研究開発を行う課題を対象。テーマは地方局独自に設定し、<u>地元研究機関の研究者を代表研究者とする</u>
応募要件	日本国内の大学、高専、民間企業、研究開発法人、地方自治体に属する研究機関等
実施期間及び研究経費	● 実施期間：最長4年度（1～4年度の間で提案者が設定可） ● 研究開発経費※：1年度目及び2年度目：最大1,300万円／年度、3年度目及び4年度目：最大3,900万円／年度
評価体制	● プログラムディレクター・プログラムオフィサーを配置し、採択課題や予算配分額の決定、制度の運用や改善・見直し等について意見を聴取。 ● 提案課題の採択・継続・終了時には、外部有識者による評価委員会において評価を実施。

2. 実施の流れ



【FORWARD事業】令和6年度～8年度の応募・採択状況

4

令和6年度

プログラム	応募		採択	
	全国	東北	全国	東北
電波有効利用基盤技術部門	32件	3件	9件	1件
デジタルインフラ構築部門（全国共通）	21件	0件	3件	0件
計	53件	3件	12件	1件

令和7年度

プログラム	応募		採択	
	全国	東北	全国	東北
電波有効利用基盤技術部門	27件	5件	14件	2件
デジタルインフラ構築部門（全国共通）	15件	0件	7件	0件
デジタルインフラ構築部門（地方独自）	6件	2件	5件	2件
計	48件	7件	26件	4件

令和8年度

プログラム	応募		採択	
	全国	東北	全国	東北
電波有効利用基盤技術部門	36件	3件	9件	0件
デジタルインフラ構築部門（全国共通）	15件	1件	5件	0件
デジタルインフラ構築部門（地方独自）	2件	0件	1件	0件
計	53件	4件	15件	0件

- 東北管内において、令和6年度・7年度に採択した5件の研究開発課題について、8受託機関と契約。（契約は、代表研究者所属の機関及び研究分担者所属の機関と実施）

令和6年度 - 電波有効利用基盤技術部門

代表	研究開発課題名	契約機関名
●	超軽量超広帯域電波吸収体を用いた次世代エアモビリティと次世代通信の共生技術	東北大学
	超軽量超広帯域電波吸収体を用いた次世代エアモビリティと次世代通信の共生技術	東海国立大学機構 名古屋大学
	超軽量超広帯域電波吸収体を用いた次世代エアモビリティと次世代通信の共生技術	秋田大学

令和7年度 - 電波有効利用基盤技術部門

代表	研究開発課題名	契約機関名
●	準ミリ波帯で高いパワーハンドリング能力を示す新規弾性波デバイスの研究開発	東北大学
●	液晶を活用したミリ波帯等の電波有効利用のための基盤技術の研究開発	秋田県立大学

令和7年度 - デジタルインフラ構築部門（地方独自）

代表	研究開発課題名	契約機関名
●	電波有効利用を促進するVHF帯マグロ解凍用電波オープンの研究開発	東北大学
●	既存インフラに依存しない双方向通信LPWA-RSSIセンシングシステムの研究開発	東北学院大学
	既存インフラに依存しない双方向通信LPWA-RSSIセンシングシステムの研究開発	東北大学

- ・情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波有効利用委員会は、令和8年7月10日に「社会環境の変化に対応した電波有効利用の推進の在り方」に関する検討結果を答申。https://www.soumu.go.jp/main_content/001080011.pdf
- ・該当答申の中で、「我が国として重点的に取り組むべきワイヤレス技術分野の推進方策」が取りまとめられており、重点技術領域の推進方策の一つとして、「**人材確保・育成**」フェーズにおける**FORWARDの活用が位置づけられている**。

● 答申の概要資料の抜粋 (概要資料 https://www.soumu.go.jp/main_content/001080010.pdf)

4 重点技術領域の推進方策		57
人材確保・育成		
1 大学や企業におけるワイヤレス人材確保・育成の強化		
● 産学連携プラットフォームとして「産学人材プラットフォーム」（仮称）の構築		
● ワイヤレス分野の地域の大学の維持・活性化		
2 魅力発信・認識醸成		
● 若年層に対するアプローチの充実、国民広くにワイヤレスネットワークの重要性の認識醸成		
3 資格制度の活用、見直し		
● ワイヤレス人材のスキルや業務経験の見える化、既存の資格の拡充や連携、何らかのcertificationの創設		
● 無線従事者資格の操作範囲とそれに求められる知識・能力を整理した上で、資格の体系の見直し		

● 「ワイヤレス分野の地域の大学の維持・活性化」（上記赤枠）の答申内容

第10章 我が国として重点的に取り組むべきワイヤレス技術分野の推進方策（別冊2）

第4節 重点技術領域の推進方策

4.3.1 人材確保・育成 フェーズ

（1）大学や企業におけるワイヤレス人材確保・育成の強化

② **ワイヤレス分野の地域の大学の維持・活性化**

FORWARD（「持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業」）を抜本的に見直し、**ワイヤレス系の地域の大学の研究室の維持・活性化と人材育成に活用する**。

【ご案内】電波利用推進セミナーin仙台 の開催について

7

○セミナーの開催

・6G/Beyond 5G時代に向けた電波政策、ワイヤレス技術の最新動向、並びに「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）」及び「持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業（FORWARD）」の成果発表に関するセミナーを開催します。

・展示会場において、SCOPE・FORWARD採択者による研究成果の展示、研究課題への参画・提案等の相談・意見交換会を実施します。

○日時：10月14日（水）13:15～16:15
（展示・相談は12:00～17:00）

○会場：TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口
（仙台駅 西口 徒歩3分）
※オンライン配信も実施

○参加費：無料

セミナーの内容、参加申込等の詳細は、東北総合通信局の報道発表のホームページをご確認下さい。

セミナーの案内パンフレット

電波利用推進セミナー in 仙台

AIネイティブ時代を拓くワイヤレス基盤技術
～未来社会を支える通信技術の研究開発と人材育成～

2026年
10月14日（水）13:15-16:15

TKPガーデンシティ
PREMIUM仙台西口（仙台市内）
※会場及びオンライン（Teams）
開場：講演会場（ホール6 A） 12:45～
展示会場（カンファレンスルーム6 I） 12:00～

申込期限
10月9日（金）17時
定員：会場100名・
オンライン100名

参加無料

右の二次元コードから
お申込みください

講演会プログラム

13:15 ～ 13:20	開会挨拶・主催者挨拶 東北総合通信局 局長 新田隆夫
13:20 ～ 14:10	基調講演 「Beyond5G/6G時代への電波資源拡大のための 研究開発と電波政策」 総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課長 小川 裕之
14:10 ～ 15:00	基調講演 「次世代通信基盤、ミリ波・テラヘルツ波技術、国際動向について ～Beyond5G/6Gの将来像と研究開発戦略～」 国立研究開発法人 情報通信研究機構 Beyond Connectivity 研究開発推進ユニット ユニット長 寶迫 巖 氏
15:10 ～ 15:40	成果発表 持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業（FORWARD） 「準ミリ波帯で高いパワーハンドリング能力を示す 新規弾性波デバイスの研究開発」 東北大学大学院工学研究科 教授 田中 秀治 氏
15:45 ～ 16:15	成果発表 戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE） 「既存無線システムやヒトへの照射を回避する 周波数再利用型マイクロ波電力伝送方式の研究開発」 岩手大学理工学部 理工学研究科 教授 本間 尚樹 氏

展示会場
※12:00から展示会場（カンファレンスルーム6 I）において、SCOPE・FORWARD採択課題の研究成果の展示及び研究開発に関する相談会を開催します。研究成果の紹介に加え、産学官の交流や共同研究、今後の研究開発への参画に向けた相談・意見交換の場を提供します。
※展示終了時間は、17:00を予定しています。